

滋賀経済産業協会と春闘に向けて意見交換



共同宣言を行う石井会長（左）と白木会長（右）

（一社）滋賀経済産業協会との意見交換会を1月23日（月）に琵琶湖ホテルにて開催、「2023春季生活闘争に関する要請」や「価格転嫁と賃上げを促し地域経済の活性化に取り組む共同宣言」を行いました。

そして、滋賀労働局雇用環境・均等室の原英史室長より「働き方改革の現状と今後の課題」についてご講演いただきました。その後、年次有休休暇の取得状況や時間外労働などについて意見交換を行いました。

価格転嫁と賃上げを促し地域経済の活性化に取り組む共同宣言

新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響、円安・原油高による原材料価格の高騰と物価高など国内外の情勢が不確実さを増し、雇用や生活に対する不安が渦巻いています。

2023春闘では、物価上昇を上回る賃金の引き上げを求める声が政府から経済団体や労働団体に求められています。

このような中、日本全体が深刻な人手不足の中、県内中小企業の人材の確保・定着を促すには、中小企業で働く者の賃上げや労働条件改善が実現できる経営基盤の強化が欠かせません。

働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の実現に向けて、成長と分配の好循環を生み出すべく、相互に連携及び協力を行い、労務費、原材料費、エネルギーコスト等の上昇分を適切に価格へ転嫁した上で賃上げを推進することが重要です。サプライチェーン全体での共存共栄、利益の向上を図り、もって県内中小企業、小規模事業者の稼ぐ力を高め、地域経済の活性化に連携して取り組むことを宣言する。

令和5年(2023年)1月23日
（一社）滋賀経済産業協会 会長 石井 太
日本労働組合総連合会滋賀県連合会 会長 白木 宏司

連合滋賀活動アルバム



連合ユニオン滋賀第24回定期大会
2022年12月20日

新たに組合員1名が仲間に入り、次年度方針を確認



連合滋賀議員団ネットワーク会議
2022年12月22日

人口減少、格差拡大と固定化、安全保障について徳永衆議院議員から学ぶ



おうみ少女合唱団第31回演奏会
2022年12月24日

「明日にチャレンジ!!」をテーマに一年の集大成を披露



アジア・アフリカ支援米発送式
2023年1月17日

日野の田んぼで育てた支援米300キロをマリ共和国へ



守山市長選挙「森中たか3み」当選
2023年1月22日

無投票で初当選を果たす!

連合 愛のカーパ

助成団体募集中
締切:2023年3月31日(金)

申込・詳細はこちら



連合組合員・家族、退職者などが、運営に参加している団体が行う事業・プログラムなどを推薦し、助成を行っています。今年度も助成団体を募集中です。ぜひ、連合滋賀までお問合せください。



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2023年1月30日

連合滋賀 第308号

大津市松本2丁目10-6

電話077-523-0500

発行・白木 宏司

編集・池内 正博

(定価 1部63円)

印刷 エメディア株式会社

連合滋賀2023新春の集い 物価高・円安・コロナ禍と激動の時代… 力を合わせ難局を乗り越え、跳躍の年にしていこう!

連合滋賀は2023年の新年を迎え、1月6日(金)に、「連合滋賀2023新春の集い」を琵琶湖ホテルにて開催しました。連合滋賀加盟組合役員、来賓、連合滋賀議員団など161名が参加し、主催者代表挨拶では、白木宏司会長が以下の挨拶を述べました。



連合滋賀会長
白木宏司
主催者代表挨拶(要旨)

新年あけましておめでとうございます。

近年はVUCA時代とも言われ、先行き不透明・将来予測が困難な中、想定外のことが起き、既存の価値観やビジネスモデルが通用しない時代であると言われていました。

また、新型コロナウイルスとの闘いも3年が経過し、エネルギー高騰と相まって物価高に歯止めがきかず、私たちを取り巻く環境は極めて厳しく、激動の時代を迎えています。

2023春季生活闘争について

日本の労働者は物価高・円安・コロナ禍の「三重苦」の中に置かれています。弱い立場の人ほど、このような経済ショックの影響を大きく受けてしまっており、社会の分配構造を変える必要が出てきています。

そのような状況を踏まえて連合は2023春闘、「未来づくり春闘と!」をスローガンに、賃上げ3%程度、定昇相当分を含む賃上げを5%程度とすることを示しました。

一方で、コロナ禍の影響が残り、回復もそれぞれ異なり、今なお、深刻で苦しい環境にある産業も多くある実態もあります。ただ、何よりも1997年から実質賃金が下がっています。労働分配率の問題、働く労働の価値への対価など、様々な要素を含んだ問題ですが、先送りにするわけにはいかない状況です。

これらを鑑みて、今春闘は次の視点での議論が必要だと考えております。実質賃金は中長期的に政策課題として継続して取り組む議論。そこにプラスアルファで急激な物価上昇に対する賃金引上げ議論、大きな目で全体の賃金の底上げと格差是正の議論、そして、コスト上昇による負担をサプライチェーン全体で適正に分担するための価格転嫁の実現が必要です。

マクロ的には賃上げに対する機運は高まっていることも実感しますし、賃上げの結果が日本経済の未来を変えるターニングポイントでもあります。

労使自治の中で、今までとは異なる次元での議論をすることが必要です。今年は、春に戦う「春闘」から春に討議をする「春討」と漢字を読み替え、労使の対立構造ではなく、持続的な賃金上昇につなげるために、双方で何が出来るのかを議論することが大切だと思います。

統一地方選挙をはじめとする各種選挙について

今年は、統一地方選挙をはじめ「選挙の年」となります。統一地方選挙は、今年中にも行われると噂が走る、国政選挙に向けても、我々が支援する立憲民主党、国民民主党の地方基盤を強化する大きな節目でもあります。

私たちの生活は、政治のシステムで方向付けされていることがほとんどで、政治に無関心ではいられません。

「働くことを軸とする安心社会の実現のためにも、推薦候補者全員の必勝を目指し、各種選挙に臨みたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

組織化問題について

労働組合組織率が16.5%と過去最低になったとの報道がありました。連合滋賀としても真摯にこの結果を受け止めたいと思います。

労働市場の一つの大きな課題として、非正規雇用、不安定雇用の格差や労働条件の低さがあります。そのような中で、我々は16.5%の組織された労働者だけの幸せや利益を追求することだけでは社会から労働運動が孤立することにつながります。

非正規労働者など80%強の未組織労働者を巻き込んだ取り組みを強化し、社会的運動にむすびつかなくてはなりません。

そういった意味からも連合滋賀に集う私たちが、集团的労使関係を構築していくことこそが、未組織で働く仲間の処遇改善と働き方改革の推進につながるものであり、取り組みのさらなる強化に努めていきます。

今年は元年となります。この難局を跳躍出来るものと思っています。健康に十分留意され、皆さんにとって充実した素晴らしい一年になることを祈念いたします。

連合2023春季生活闘争方針

スローガン 暮らしをまもり、未来をつくる。

連合2023春季生活闘争方針 詳細は、WEBにてご覧いただけます。



2023春季生活闘争の意義と基本スタンス

- ・「未来づくり春闘」でデフレマインドを断ち切り、ステージを変えよう
- ・「働くことを軸とする安心社会」に向け、格差是正と分配構造の転換に取り組もう
- ・「みんなの春闘」を展開し、集団的労使関係を広げていこう

連合2023春季生活闘争方針発表 連合プレスリリースより（2022年12月1日）

- ・GDPも賃金も物価も安定的に上昇する経済へとステージを転換し望ましい未来をつくっていくことが必要だ。「未来づくり春闘」を深化させ、国・地方・産業・企業の各レベルで、日本の経済・社会が直面する問題に対する意識の共有化に努め、ステージを変える転換点とする必要がある。
- ・物価上昇によって働く仲間の生活は苦しくなっており、賃上げへの期待は大きい。とりわけ、生活がより厳しい層への手当てが不可欠であり、規模間、雇用形態間、男女間の格差是正を強力に進める必要がある。
- ・企業内での格差是正の取り組みに加え、サプライチェーン全体で、生み出した付加価値とともにコスト負担も適正に分ち合うことを通じ、企業を超えて労働条件の改善に結びつけていく。
- ・各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点とすべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とするマクロの観点から、賃上げ分を3%程度、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含む賃上げを5%程度とする。

「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの考え方

	目的	要求の考え方
底上げ	産業相場や地域相場を引き上げていく	定昇相当分+賃上げ分 (→地域別最低賃金に波及)
格差是正	企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を是正する	・社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ・男女間については、職場実態を把握し、改善に務める
底支え	産業相場を下支えする	企業内最低賃金協定の締結、水準の引上げ (→特定最低賃金に波及)

賃金要求指標パッケージ

底上げ	各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点とすべての働く人の生活を持続的に維持・向上させる転換点とするマクロの観点から、賃上げ分を3%程度、定昇相当分(賃金カーブ維持相当分)を含む賃上げを5%程度とする。	
格差是正		規模間格差是正
	目標水準	<ul style="list-style-type: none"> ・昇給ルールを導入する。 ・昇給ルールを導入する場合は、勤続年数で賃金カーブを描くこととする。 ・水準については、「勤続17年相当で時給1,750円・月給288,500円以上」となる制度設計をめざす
	最低到達水準	<ul style="list-style-type: none"> 35歳:266,250円 30歳:243,750円 企業内最低賃金協定1,150円以上 企業内最低賃金協定1,150円以上
底支え	<ul style="list-style-type: none"> ・企業内のすべての労働者を対象に協定を締結する。 ・締結水準は、生活を賄う観点と初職に就く際の観点を重視し、「時給1,150円以上」をめざす。 	

2023春季生活闘争・統一地方選挙必勝総決起集会

日時 3月4日(土)10時~

場所 なぎさ公園市民プラザ 滋賀県大津市由美浜4



春闘の方針と課題について 「連合白書」



春季生活闘争方針の確認を受けて、連合より毎年12月に「連合白書」を刊行しています。働く者を取り巻く様々なデータに基づく現状と課題とともに、団体交渉・労使協議の際の視点として考え方を示しています。

ご購入はこちら



春闘で男女平等参画、ジェンダー平等推進 「アクションリーフ」



連合では春季生活闘争におけるジェンダー平等推進に向けて、Actionリーフレットを作成しています。

PDFダウンロード



!! 暮らしをまもり 未来をつくる !!

賃上げで、変えよう。あしたを。

賃上げ実現・暮らし支援 あしたを変える 連合緊急アクションを展開中!

連合は、コロナ禍に加え急激な物価高が国民生活にさらなる影響を及ぼしていることを踏まえ、賃上げの社会的波及、格差是正、生活困窮者支援が喫緊の課題であると受け止め、現下の経済情勢に鑑み、構成組織・地方連合会・連合本部の有機的な取り組みを通じて、連合組合員はもとより、すべての働きにくくす人々に向けて連合の訴えを届け、賃上げと政策・制度要求の実現に向けた社会的な機運を醸成するため『賃上げ実現・暮らし支援 あしたを変える連合緊急アクション』を展開しています。



特設サイト



男女平等標語・川柳 (題) 疲れても お疲れ様と ありがたう (自動車総連) ダイハツ労働組合 竜王第二支部 西田 晋也さん

男女平等標語・川柳 (題) テレワーク かわる日常 かえる価値観 (全労金) 近畿労働金庫労働組合 塚田 昭美子さん